

吉住知文教授主要経歴・著作目録

学 歴

- 1966年3月 京都府立西舞鶴高等学校全日制普通科卒業
1966年4月 東京大学理科Ⅰ類入学
1971年6月 東京大学教育学部教育学科，教育史・教育哲学専攻課程卒業
1997年3月 埼玉大学大学院経済科学研究科経済科学専攻，経済発展と国際化コース修士課程修了（修士（経済学））
2002年3月 東京大学大学院経済学研究科現代経済専攻博士課程単位取得満期退学

職 歴

- 1971年7月 株式会社電通大阪支社社員（～1974年6月）
1975年4月 埼玉県立浦和西高等学校非常勤講師（～1976年3月）
1976年4月 埼玉県立浦和西高等学校教諭（～1980年3月）
1980年4月 埼玉県立朝霞西高等学校教諭（～1990年3月）
1990年4月 埼玉県立大宮中央高等学校通信制課程教諭（～2002年3月）
1995年4月 國學院大学文学部兼任講師（～2018年3月）
1995年4月 農林水産省農業者大学校非常勤講師（～2007年3月）
2002年4月 埼玉県立草加東高等学校教諭（～2003年3月）
2003年4月 駿河台大学経済学部助教授（～2005年3月）
2005年4月 駿河台大学経済学部教授（2013年度より経済経営学部，～2018年3月）
2005年4月 立教大学学校・社会教育講座兼任講師（～2014年3月）
2012年4月 オクスフォード大学大学院 Green Templeton College 客員研究員（～2013年3月）
2016年4月 駿河台大学大学院総合政策研究科教授（～2017年3月）
2018年3月 駿河台大学退職

（2012年度を含む職歴については，在外研究のため2012年度を除く）

資 格

- 1975年2月 高等学校教諭二級普通免許状—社会—
1992年1月 高等学校教諭専修免許状—社会—

賞 罰

- 2002年5月 埼玉県定時制教育・通信制教育功労者賞（埼玉県定時制教育・通信制教育振興会）
2002年6月 全国高等学校通信制教育功労者賞（全国高等学校通信制教育研究会）

著 作

I 著書（全て共著）

- 『社会科新高等地図—指導資料』東京書籍，1983年2月
『改定 社会科新高等地図—指導資料』東京書籍，1986年2月
『社会科新高等地図—指導資料』東京書籍，1988年2月
『地理—指導資料』東京書籍，1988年2月
『高校地理資料—現代の世界』法規文化出版社，1989年2月
『改定 社会科新高等地図—指導資料』東京書籍，1991年2月
『世界の諸地域—教授資料』帝国書院，1991年3月
『改定 現代社会—学習書』日本放送出版協会，1991年3月
『新高等地図—指導資料』東京書籍，1994年3月
『高校地理資料：改訂 現代の世界』法規文化出版社，1994年2月
『高校生の世界地理A—教授資料』帝国書院，1994年3月
『新詳地理B—教授資料』帝国書院，1994年3月
『世界史B—指導資料』三省堂，1994年3月
『高等世界地理B—教授資料』帝国書院，1995年3月
『援助と開発』開発教育協議会，1995年4月
『世界史B 改訂版—指導資料』三省堂，1998年3月
『指導資料 新高等地図』東京書籍，1998年3月
『高等世界地理B—教授資料』帝国書院，1999年3月

- 叢書 現代南アジア第4巻『現代南アジア④ 開発と環境』(担当「植民地
期インドの森林政策と住民生活」) 東京大学出版会, 2002年12月
『新選世界史B指導資料』東京書籍, 2003年3月
『高校生の世界地理Aーくらし・世界・未来』帝国書院, 2003年3月
『貧困と開発ー豊かさへのエンパワーメントー』(担当「力の剥奪ーレ
ーダーチャート」「開発とはなにかーランキング」) 開発教育協会, 2005
年8月
『指導書地理B』東京書籍, 2008年3月
『地理B指導書』東京書籍, 2014年3月

II 学術論文(全て単著)

- 「言語と思考」東京大学教育学部卒業論文, 1971年6月
「近代日本のアジア観 I」『研究集録』(埼玉県立浦和西高等学校研究紀要)
第10集, 1980年3月
「カースト制」『軌跡』(埼玉県立朝霞西高等学校研究紀要) 第3号, 1983
年9月
「マルコ・ポーロとイブン・バトゥータにおける異文化接触」季刊『東西交
渉』13号, 1985年3月
「インドヒマラヤの水牛遊牧民グジャール族ーその生活と定住化ー(1)」
『一橋論叢』第106巻第2号, 1991年8月
「インドヒマラヤの水牛遊牧民グジャール族ーその生活と定住化ー(2)」
『一橋論叢』第107巻第2号, 1992年2月
「社会的選択理論の教育的インプリケーション」『國學院大学教育学研究室
紀要』第30号, 1996年2月
「イギリス支配下におけるインドの森林経営ー営林の商業化と森林破壊ー」
埼玉大学大学院経済科学研究科修士論文, 1997年3月
「開発教育教材作成の試みーインドヒマラヤの森林開発をモデルとしたロー
ルプレイ」『國學院大学教育学研究室紀要』第35号, 2001年3月
「森林保全か放牧権かー植民地期の西ヒマラヤの牧畜をめぐってー」『南ア
ジアの家畜と環境』東京大学東洋文化研究所, 2001年3月
「人口圧か商業伐採か: 植民地期インドの森林破壊の原因をめぐって」『イ

ンドにおける人口と開発—総合的・歴史的アプローチ—』一橋大学経済研究所, 2004年3月

「開発教育教材の作成とその実践—フリードマンの「力の剥奪」モデルによる貧困のレーダーチャート—」『國學院大学教育学研究室紀要』第39号, 2005年2月

「森林局対税務局—植民地期インドの森林政策をめぐって—」『駿河台経済論集』17巻2号, 2008年3月

「イギリス支配下のインドにおける森林行政の形成過程」『駿河台経済論集』19巻2号, 2010年3月

「クールー初期森林政策史 1846-1876」『駿河台経済論集』21巻第2号, 2012年3月

「社会・地歴・公民の授業作り—授業目標, 教材研究, 授業構成—」『國學院大学教育学研究室紀要』第47号, 2013年2月

「「教職論」の展開と受講生の反応の分析」『駿河台大学教職論集』1号, 2015年2月

Ⅲ 研究ノート (全て単著)

「パンジャブ政府森林委員会報告書 1938 の検討」『駿河台経済論集』16巻2号, 2007年3月

「教職課程履修者の就職活動の分析」『駿河台大学経済研究所所報』第19号, 2016年9月

「オーストラリアにおける開発教育・地理教育の現状—ICT・GIS・反転授業—」『駿河台大学論叢』第54号, 2017年7月

Ⅳ 翻訳

マヌー・バンダーリー著「ラーニー・マーンの祠」(共訳)『シルクロード通信』復刊1号, シルクロード文化研究所, 1990年10月

マイク・パーンウェル著『第三世界と人口移動』(共訳), 古今書院, 1996年11月

「カールトン具申書 (翻訳)—植民地期インドのクールー地方の森林行政に抗して—」(単独)『駿河台経済論集』20巻1号, 2010年9月

V その他の著作（全て単著）

- 「新高校地理教科書を見て」『教育の森』第6巻第11号，1981年11月
- 「新課程地理教科書・地図帳の記述の正確さについて」『社会科研究集録』
（埼玉県高等学校社会科教育研究会。以下高社研とし発行所は省略）第
18号，1982年3月
- 「インド考」『軌跡』（埼玉県立朝霞西高等学校研究紀要）第2号，1982年
9月
- 「マルコ・ポーロとイブン・バトゥータにおける異文化接触の比較文化論的
研究」『社会科研究集録』第21号，1985年3月
- 「マルコ・ポーロとイブン・バトゥータにおける異文化接触の比較文化論的
研究」『軌跡』（埼玉県立朝霞西高等学校研究紀要）第4号，1985年6月
- 「インドにおける緑の革命の現状」『高校通信 地理』第281号，東京書籍
（以下発行所省略），1988年4月
- 「世界経済と南北問題」『高校通信 地理』第283号，1988年6月
- 「ナイルの水危機」『高校通信 地理』第285号，1988年9月
- 「中国の消費性向」『高校通信 地理』第287号，1988年11月
- 「タイにおける大規模ユーカリ植林の功罪」『高校通信 地理』第289号，
1989年1月
- 「1988年度地理部会第1学期研究会報告」『社会科研究集録』第25号，
1989年3月
- 「インド・ヒマラヤの住民生活」『社会科研究集録』第25号，1989年3月
- 「インド・ザンスカル地方の農村を訪ねて」『地理・地図資料』No.29，帝国
書院（以下発行所省略），1989年5月
- 「開発教育－欧米諸国および日本の現状と課題－」『研修報告書集録』（埼玉
県教育委員会内部資料），1990年4月
- 「インドヒマラヤの水牛遊牧民グジャール族を訪ねて」『高校通信 地理』
第303号，1990年6月
- 「グジャール族：インドヒマラヤの水牛遊牧民」『社会科研究集録』第27号，
1991年3月
- 「森林資源とその保全－環境教育としての展開－」『高校通信 地理／地図』
第315号，東京書籍（以下発行所省略），1991年9月

- 「インドヒマラヤの牧畜」『高校通信 地理／地図』第321号, 1992年4月
- 「民族問題をどう教えるか」『地歴と地図資料』No.84, 帝国書院 (以下発行所省略), 1994年1月
- 「開発教育の概念と方法論」『社会科研究集録』第30号, 1994年3月
- 「社会的選択理論と教育への適用」『社会科研究集録』第31号, 1995年3月
- 「開発教育」『地理の広場』117号, 全国地理教育研究会, 2007年11月
- 「森と人と文化」『埼玉新聞』, 2013年5月18日
- 「公文書を残す文化ーイギリスの場合ー」『埼玉新聞』, 2015年7月23日
- 「モロッコ紀行」『埼玉地理教育研究会通信』第18号, 2016年6月
- 「オーストラリアにおける地理教育・開発教育の現状ー反転授業・ICT・GISー」『地理教育研究会 大会要項』, 2016年8月
- 「教職科目のアクティブラーニング的展開ーグループワーク・グループ討論・参加型教材ー」『地理教育研究会 大会要項』, 2016年8月
- 「オーストラリア調査報告」『埼玉地理教育研究会通信』第19号, 2017年2月
- 「オーストラリア・アデレード周辺調査報告Ⅰ」『地理教育研究会会報』第514号, 2017年6月
- 「オーストラリア・アデレード周辺調査報告Ⅱ」『地理教育研究会会報』第515号, 2017年7月

VI 研究発表 (全て単独)

- 「比較遊牧論」, 高校地理研究会 (以下地理研), 1979年3月14日
- 「近代日本のアジア観 (1)」, 地理研, 1979年9月18日
- 「新课程地理教科書, 地図帳の記述の不正確さについて」, 高社研, 1982年1月29日
- 「スウェン・ヘディンのチベット旅行」, 地理研, 1982年5月22日
- 「カースト制」, 高社研, 1983年2月7日
- 「マルコ・ポーロとイブン・バトゥーにおける異文化接触」, 地理研, 1984年1月26日
- 「マルコ・ポーロとイブン・バトゥーにおける異文化接触の比較文化論的研究」

- 究」, 高社研, 1985年2月8日
- 「地図帳を使って何を教えられるか」, 地理研, 1986年1月
- 「中国自然地理」, 地理研, 1986年5月23日
- 「インド・ラジャースタン州調査報告」, 地理研, 1987年2月23日
- 「乾燥地形ーインドを中心に」, 地理研, 1988年6月24日
- 「インド・ヒマラヤ・トレッキング」, シルクロード研究所, 1988年9月13日
- 「インド・ザンカル地方調査報告」, 地理研, 1988年10月14日
- 「インド・ヒマラヤの住民生活」, 高社研, 1989年2月14日
- 「インドヒマラヤの牧畜民」, 地理研, 1989年9月
- 「インドヒマラヤの牧畜民」, 一橋大学社会地理学研究室研究会, 1989年11月
- 「開発教育:欧米諸国および日本の現状と課題」, 地理研, 1990年5月22日
- 「インドヒマラヤの水牛遊牧民グジャール族」, 南アジア研究会, 1990年7月14日
- 「現地報告:スライド『フィリピン, マレーシア, シンガポール』」, 地理研, 1991年1月18日
- 「インドヒマラヤの水牛遊牧民グジャール族」, 高社研, 1991年2月8日
- 「東南アジア諸国の社会科教科書」, 地理研, 1991年4月26日
- 「ETHNICITYの概念について」, 地理研, 1991年5月28日
- 「乾燥高地の谷地形ーラダック地方の場合ー」, 地理研, 1991年9月24日
- 「インドのソーシャルフォレストリー (社会事業営林)」, 地理研, 1992年4月21日
- 「中国視察報告ー香港, 西安ー」, 地理研, 1992年9月29日
- 「チベット巡検報告」, 地理研, 1992年10月20日
- 「タイ視察報告ーその1 (チェンマイの手工業, 北部少数民族)」, 地理研, 1993年2月16日
- 「タイ視察報告ーその2 (スコータイ, カンチャナブリ他)」, 地理研, 1993年4月27日
- 「イギリス統治下におけるインドの森林経営の展開ー営林商業科とその影響ー」, 地理研, 1993年10月26日

- 「開発教育と教材の開発について」, 高社研, 1994年2月9日
- 「インドネシア巡検報告」, 地理研, 1994年2月15日
- 「社会的選択理論」, 地理研, 1995年1月24日
- 「社会的選択理論と教育への適用」, 高社研, 1995年2月8日
- 「生命系の経済学」, 地理研, 1995年9月26日
- 「イギリス支配下におけるインドの森林経営」, 東京大学経済史研究会,
1998年5月1日
- 「植民地期のインドにおける森林政策の展開」, 科研特定領域研究(A)研
究会, 1998年12月8日
- 「植民地期の森林政策—何のための森林保護—」, 科研特定領域研究(A)
研究会, 2000年9月25日
- 「植民地期におけるインド森林政策史研究をめぐる諸問題」, 科研基盤研究
(A)研究会, 2002年1月
- 「インドヒマラヤにおける森林・牧畜政策と住民生活」, 日本地理学会秋季学
術大会シンポジウム, 2002年9月27日
- 「インドヒマラヤにおける森林政策と住民生活—森林文化の視点から—」,
高社研, 2003年2月19日
- 「地理歴史科教育法の展開—生徒参加型学習による考える社会科をめざして
—」, 地理教育研究会第44回大会, 2005年8月1日
- 「埼玉県の高校教育における開発教育の歴史」, 全国地理教育研究会, 2007
年7月30日
- 「イギリス在外研究報告」, 駿河台大学教養文化研究所研究会, 2016年6月
30日
- 「教職科目のアクティブラーニング的展開—グループワーク・グループ討
論・参加型教材—」, 地理教育研究会第55回大会, 2016年8月7日
- 「オーストラリアにおける地理教育・開発教育の現状—反転授業・ICT・GIS
—」, 地理教育研究会第55回大会, 2016年8月7日

VII 講演

- 「イギリスの『科学的営林』とインドの森林破壊」『アジアの森林と社会～
生活から環境問題を考える～』, 国際交流基金, 2001年3月12日

- 「総合演習について」, 埼玉県立総合芸術高等学校, 2003年10月16日
- 「生徒が主体的に参加する学習」, 入間地区校長会, 2004年9月15日
- 「インドヒマラヤの自然と生活」, 彩・ふるさと喜楽学(駿河台大学), 2006年7月8日
- 「森林文化シンポジウムー飯能発・森林文化を語り, 伝えるー」(飯能市主催), 飯能市市民会館大ホール, 2007年10月13日
- 「カースト制ーその差別の実態と差別解消政策ー」, さいたま市立土合公民館, 2011年6月4日
- 「植民地期インドの森林政策と住民生活ーヒマラヤの視座からー」, 高社研, 2013年5月22日
- 「住んでみたイギリス」(豊岡プチ大学), 駿大ふれあいハウス, 2013年7月20日
- 「熱帯林破壊問題」(豊岡プチ大学), 駿大ふれあいハウス, 2014年7月19日
- 「カースト制ーその差別の実態と差別解消政策ー」, 公開講座(市民の大学IV), 駿河台大学, 2014年11月22日

VIII 海外調査・在外研究

- 1974年7月～12月:ソ連, ヨーロッパ, 北アフリカ, 西アジア, 南アジア, 東南アジア長期海外調査
- 1980年8月:アメリカ, カナダ, メキシコ地理学的調査
- 1981年12月～1月:インド。カジュラホ, アジャンタ, エローラ歴史的調査
- 1883年7～9月:イギリス, フランス, ドイツ, イタリア, ハンガリー, ソ連で地理学的, 歴史的調査
- 1986年12月～1月:インド。ジョドプール, ジャイサルメール, 乾燥地研究所にて地理学的調査
- 1988年7～8月:インド。ラフル, ザンスカル, ジャンムー・カシミールで地形, 民俗調査
- 1989年7～9月:インド。水牛遊牧民グジャールの遊牧生活, 牧畜経済, 民族誌調査

- 1990年12～1月:フィリピンでスラム調査, マレーシアでプランテーション調査
- 1991年7～8月:インド。ラフル, ラダックで地理学的調査
- 1992年7～8月:中国。青海省, チベット自治区で地理学的, 歴史学的調査
- 1992年12～1月:タイ。北部少数民族調査(カレン, ヤオ, アカ, シャン, メオ)
- 1993年12～1月:インドネシア。茶プランテーション, 棚田米作調査
- 1994年3～4月:台湾。バナナプランテーション, 阿美族ほかの地理学的調査
- 1994年7～8月:インド。スピティ, キンノウル, 森林調査研究所にて民俗, 森林資料調査
- 1996年3～4月:ロタで環境調査
- 1996年7～8月:インド。森林調査研究所にて森林資料収集
- 1997年7～8月:イギリス。インド省図書館, オクスフォード林業研究所にてインド森林関係資料収集
- 1997年12月:ハワイで気候, 火山地形調査
- 1999年8月:インド。シムラ, クールで森林政策史料収集
- 1999年12月:オーストラリア。ケアンズ, ウルル, カカドゥ国立公園で地理学的調査
- 2001年3～4月:中国。北京, 八達嶺, 蘆溝橋, 明の十三陵で歴史学的調査
- 2001年12～1月:ベトナム。ホーチミン, クイヨン, フェ, ハノイで地理学, 歴史学的調査
- 2002年8月:ニュージーランド。アオラキ, フィヨルドランドなどで地理学的調査
- 2002年12月:モルジブで環境調査。インドケララ州トリバンダム, デリーにて森林資料収集
- 2003年12月:カンボジア, ベトナムにて地理学的, 歴史学的調査
- 2004年3月:フィジーで環境調査
- 2004年8月:インド。森林調査研究所およびヒマチャル州公文書館にて森林政策史料収集
- 2005年12月:ペルー。リマ, ナスカ, クスコ, マチュピチュ, チチカカ湖

にて地理学的，歴史学的調査

- 2006年12月:中国。杭州，上海，蘇州にて地理学的，歴史学的調査
- 2007年8月:パラオで環境調査
- 2007年12月:トルコ。コンヤ，アンタルヤ，アスペンドス，エフェソス，
ペルガモンで地理学，歴史学的調査
- 2010年1月:サイパンで地理学的調査
- 2010年7月:オーストラリア。森林政策史調査，シドニー，キャンベラ，キ
ャンベルタウンにて地理学的調査
- 2010年8月:イギリス。大英図書館，オクスフォード植物科学図書館，同イ
ンド研究所図書館でインド森林政策史関係資料収集，レッチワースでガー
デンシティー調査，ドックランズ再開発調査
- 2012年4月～2013年3月:イギリス。オクスフォード大学大学院 Green
Templeton College 客員研究員，同大科学図書館，大英図書館等でインド
森林関係の資料収集，スコットランド，アイルランドなどでの地理学的調
査
- 2013年9月:イギリス。イングランド南西部，同東部，ウェールズ北部など
の地理学的調査
- 2014年2月:ニューカレドニアで歴史，民俗，地形，産業調査
- 2014年8月:デンマーク，スウェーデン，ノルウェー，イギリスで開発教育
の資料収集
- 2014年12月:マレーシア。コタキナバルにて地理学的調査
- 2015年2月:カナダで開発教育の資料収集
- 2015年8～9月:オーストラリアで開発教育の資料収集と多文化教育調査
- 2016年2月:モロッコで地理学的，歴史学的調査
- 2016年9月:メキシコで地理学的，歴史学的調査
- 2017年2～3月:インド。ダージリンの茶園労働者の調査，コルカタとデリ
ーの都市開発調査
- 2017年8～9月:フィンランド，バルト三国。地理学的，歴史学的調査
- 2018年2月:ポルトガルで地理学的，歴史学的調査